※令和３年度以前入学生用

学校番号	3008

令和４年度　工業（電子機械科）

教科	工業	科目	課題研究	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

課題研究は、みなさんが２年間学んできた知識や技術・技能を組み合わせ、実際にものづくりや、高度な資格取得に取り組むものです。
大きく４つの班に班分けをしたのち、自身の興味と関心でテーマや目標を設定し、役割分担などを決めます。また個人のスキルアップはもちろんですが、メンバーで協力し合うチームワークも必要となります。年度末には発表会を行いそれぞれの成果を確認します。

2　学習の到達目標

課題研究はＰＢＬ学習の集大成でもあります。生徒自身が自らの問題を見つけ、その問題に向き合い解決する能力を身に着けることを目標とし、自発的、創造的な学習態度を育成する。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	テーマに対して目的を設定し、計画的に課題に取り組むことができる。自発的・継続的な学習を通じて、知識や技術を高める探求力を養おうとしている。	目的を理解し、達成する為に、適切な手段を講じ、解決を目指し、自ら考え、判断し、創意工夫する態度を身につけている。また自身の結果をまとめ、成果を表現できる。	機械や電気に関する基礎的な技能を身につけている。また、さらにそれを発展させて、個人のスキルアップをはかっている。	機械や電気に関する基礎的な知識を身につけている。また、さらにそれを応用するなどの理解と考察力が身についている。
評価方法	学習状況の観察 出席状況 授業内発表	学習状況の観察 授業内発表 課題研究発表会	学習状況の観察 授業内発表 加工技術などの精度	学習状況の観察 授業内発表 課題研究発表会

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
年間	なし	1.　オリエンテーション テーマ説明と班分け	○			○	a: テーマに対して目的を設定し、計画的に課題に取り組むことができる。自発的・継続的な学習を通じて、知識や技術を高める探求力を養おうとしている。 b: 目的を理解し、達成する為に、適切な手段を講じ、解決を目指し、自ら考え、判断し、創意工夫する態度を身につけている。また自身の結果をまとめ、成果を表現できる。 c: 機械や電気に関する基礎的な技能を身につけている。また、さらにそれを発展させて、個人のスキルアップをはかっている。 d: 機械や電気に関する基礎的な知識を身につけている。また、さらにそれを応用するなどの理解と考察力が身についている。	・学習状況の観察 ・出席状況 ・授業内発表 ・加工技術などの精度 ・課題研究発表会
		2.　目標の設定 テーマに応じて目標設定	○	○		○		
		3.　計画 年間を通じての計画作成		○				
		4.　研究作業 加工・組立やプログラミングなどの作業と学習	○	○	○			
		5.　検証(改善および改良) 目標達成度の確認、改善および改良点の抽出	○			○		
		6.　改善計画 改善計画の作成		○		○		
		7.　改善研究作業 改善作業	○		○			
		8.　検証 目標達成度の確認	○			○		
		9.　課題研究発表 発表会資料作成と発表		○	○	○		

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。